# 令和元年度(2019年度)行政評価シート【個表】

		节和元年度(2019年度	)行以評価	シート	回表』 <sub>令和</sub>	元	年	6	月	27	日
評価対象事業			評価者	評価者 教育センター所長			泉	昭子	-		
教育-37	実施事業	教育情報事業	自治事務	主管課	教育センター						
	まち・ひと・しごと	教育   報争表	法定受託事務	関連課							
総合計画上の 位置付け	分野	学校教育	施策の方針	教育内容·教	数育環境の充実						

### 1 事業の目的

## 2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

市立小・中学校の児童生徒等

郷土学習の補助として、小・中学校の理科・社会科の学習資料を発行して 図 郷土の理解を図るため

児童生徒が、鎌倉についての郷土理解と郷土愛を育むことを図る

市内小・中学校の郷土学習の学習資料を作成し配布した。 ・「かまくら子ども風土記」を発行(販売)し、情報の提供を行った。 ・教育情報の収集・提供を行った。

### 3 事業費等基礎データ

	データ区分	29年度(2017年度)決算	30年度(2018年度)決算	データ区分	01年度(2019年度)当初予算	備 考
デヘー	人口	176,466人	176,308人	人口	176,436人	•各年3月31日
タ等	世帯数	81,150世帯	81,763世帯	世帯数	82,444世帯	(住民基本台帳)
<u></u>	事業の対象者数			事業の対象者数		
	決算値(千円)	1,980	4,946	当初予算(千円)	2,648	
運営資源状況	国県支出金			国県支出金		
	地方債			地方債		
	その他			その他		
	一般財源	1,980	4,946	一般財源	2,648	
	人員配置数	1.0	1.0	人員配置数	1.0	
	人 件 費(千円)	7,748	7,731	人 件 費(千円)	7,796	
費運	総事業費(千円)	9,728	12,677	総事業費(千円)	10,444	
	市民1人当りの 経費(円)	55	72	市民1人当りの 経費(円)	59	
	対象者1人当り の経費(円)			対象者1人当り の経費(円)		

4 評任	<u> </u>		※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。					
効 率 性	事業費に削減余地はないか		2. ない					
X) <del>+</del> 13	関連・類似事業との統合はできないか		3. 統合できない					
	事業の実施に対する市民ニーズはある	るか	3. 変わらずにある					
妥 当性	事業の廃止・休止による市民生活への影	/響は大きいか	<mark>^</mark> 3. 廃止・休止による影響は大きくある					
	今後も市が実施すべき事業か		5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある					
有 効 性	事業の成果は得られているか		3. 十分な成果が出ている					
H XI II	事業の上位施策に向けた貢献度は大	きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している					
公 平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している					
	市民等と協働して事業を展開しているか		△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である					
協働		△.協働未実施	施協働実施済の場合のパートナー					
	□ a:事業内容を見直す <b>⇒</b>	見□拡大	大見					
事業	<ul><li>b:事業内容は現状通りとする</li></ul>	<b>種直</b> 類し □ 縮小						
内容の方向性	□ c:事業を休止又は廃止する	<b>あ</b>						
231 312	□ d:他事業と統合し、本事業は廃止	:する =	事業へ統合					
予算	□ A:予算規模を拡大する	事業内容•予						
規模の	■ B:予算規模は現状維持とする	算規模の方向	今後も郷土学習の補助として、小・中学校の理科・社会科の学習資料を発行して郷土の理解を図る必要があると考える。					
方向性	□ C:予算規模を縮小する	性設定の理由						
総評	日本仏社の御「登場」った田寺でよる	) = rm 소( - 커. 스	<b>ヘシの冷切次がとから) たたましい イン</b>					
(評価に			会科の学習資料を作成し、毎年配付している。 「、「かまくらっ子の意識と実態調査研究」第11集の発行に向け、本調査を実施した。					
対する考え方、	・「教育資料研究会」にて、「かまくら子」	ども風土記」第	14版刊行に向けた改訂作業を行い3月に発行した。 - 巻   <平成編 > 刊行準備委員会にて資料収集・執筆を行っている。					

考え方、 根拠等)

- ・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」<平成編>刊行準備委員会にて資料収集・執筆を行っている。

(2018年 地にあたっ 課題 決の事項 い) ・「教育資料研究会」にて、「かまくら子ども風土記」第14版刊行に向けた改訂作業を行う。 ・ 平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」 <平成編>刊行準備委員会にて資料収集・執筆を行う。										
ために行っ の年度 )の取組 ・「教育資料研究会」にて、「かまくら子ども風土記」第14版刊行に向けた改訂作業を行い。3月に発行した。 ・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」〈平成編〉刊行準備委員会にて資料収集・ ・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」〈平成編〉刊行準備委員会にて資料収集・ は、本意問題でなる。 「教育問題でなる」にて、「かよく」、スの音楽しまな調本研究。第14億の発行に向け、調本は異の表質を行い、初生書										
・「教育課題研究会」にて、「かまくらっ子の意識と実態調査研究」第11集の発行に向け、調査結果の考察を行い、報告書を作成する。 ・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」〈平成編〉刊行準備委員会にて資料収集・執筆を行う。										
<u>マーク(</u>	県内外自	治体など他	自治体や民間	団体との比較	交値)					
比較事項										
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方										
百傑					224	+=+	<b>而</b>			
指標の内容							備考			
理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
	・「教成の会社を表現の会社を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	・「教育資料研究会・平成の鎌倉市の教育課題研究会え、調査結果の考え、調査資料研究会した。・平成の鎌倉市の教験筆を行った。・「教育課題研究会を作成の鎌倉市の教育、平成の鎌倉市の教育・平成の鎌倉市の教育・平成の鎌倉市の教育・平成の鎌倉市の教育・中域の東京の鎌倉市の教育・中域の東京の鎌倉市の教育・中域の東京の東京の鎌倉市の教育・中域の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の	・「教育資料研究会」にて、「かまく・平成の鎌倉市の教育を概観す~・「教育課題研究会」にて、「かまくえ、調査結果の考察を始めた。・「教育資料研究会」にて、「かまくした。・平成の鎌倉市の教育を概観す~教筆を行った。・・平成の鎌倉市の教育を概観す~マーク(県内外自治体など他	・「教育資料研究会」にて、「かまくら子ども風土記・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史・「教育課題研究会」にて、「かまくらっ子の意識とえ、調査結果の考察を始めた。 ・「教育資料研究会」にて、「かまくら子ども風土記した。 ・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史教筆を行った。 ・「教育課題研究会」にて、「かまくらっ子の意識とを作成する。 ・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史マーク(県内外自治体など他自治体や民間	<ul> <li>・「教育資料研究会」にて、「かまくら子ども風土記」第14版刊行は・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」 &lt; 平原表育課題研究会」にて、「かまくらっ子の意識と実態調査研究え、調査結果の考察を始めた。</li> <li>・「教育資料研究会」にて、「かまくら子ども風土記」第14版刊行はした。</li> <li>・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」 &lt; 平原教筆を行った。</li> <li>・・下教育課題研究会」にて、「かまくらっ子の意識と実態調査研究を作成する。</li> <li>・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」 &lt; 平原マーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較である)</li> <li>・平の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」 &lt; 平原マーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較)</li> </ul>	・「教育資料研究会」にて、「かまくら子ども風土記」第14版刊行に向けた改訂作・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」 < 平成編 > 刊行準備・ で成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」 < 平成編 > 刊行準備とた。・「教育資料研究会」にて、「かまくら子ども風土記」第14版刊行に向けた改訂作した。・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」 < 平成編 > 刊行準備執筆を行った。 ・・・教育課題研究会」にて、「かまくらっ子の意識と実態調査研究」第11集の発行を作成する。・・ 平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」 < 平成編 > 刊行準備マーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)	・「教育資料研究会」にて、「かまくら子ども風土記」第14版刊行に向けた改訂作業を行う。 ・・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」 < 平成編 > 刊行準備委員会にて資 ・・「教育課題研究会」にて、「かまくらっ子の意識と実態調査研究」第11集の発行に向け、本調され、調査結果の考察を始めた。 ・・「教育資料研究会」にて、「かまくら子ども風土記」第14版刊行に向けた改訂作業を行い。3月した。 ・・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」 < 平成編 > 刊行準備委員会にて資業を行った。 ・・「教育課題研究会」にて、「かまくらっ子の意識と実態調査研究」第11集の発行に向け、調査を作成する。 ・・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」 < 平成編 > 刊行準備委員会にて資マーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)  「機関性を関係を表現して、「おより、「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・「教育資料研究会」にて、「かまくら子ども風土記」第14版刊行に向けた改訂作業を行う。 ・・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」〈平成編〉刊行準備委員会にて資料収集・執筆され、調査結果の考察を始めた。 ・「教育資料研究会」にて、「かまくらっ子の意識と実態調査研究」第11集の発行に向け、本調査を終え、調査結果の考察を始めた。 ・「教育資料研究会」にて、「かまくら子ども風土記」第14版刊行に向けた改訂作業を行い。3月に発行した。 ・・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」〈平成編〉刊行準備委員会にて資料収集・ ・「教育課題研究会」にて、「かまくらっ子の意識と実態調査研究」第11集の発行に向け、調査結果の考察を行を作成する。 ・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」〈平成編〉刊行準備委員会にて資料収集・執筆をマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)  「根理 年次 H26(2014) H27(2015) H28(2016) H29(2017) H30(2018) R01(2019)  日標値		